安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	**器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
	傾斜天井や竿ぶち天井、補強のない天井には取付けない。天井面取付専用器具です。（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）		**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
	ライトユニット単体で使用しない。（落下・感電・火災の原因）	厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。**
			必ず当社の My シリーズ専用器具本体と防水形ライトユニットとの組み合わせで使用する。（落下・感電・火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**高温（35℃を超える）、粉じんの多い場所、腐食性ガスの出る場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）	禁止	**軒下など雨の吹き込むおそれのある場所（雨線内）で使用できます。屋外や風の強い場所での使用しない。また、背面より水がかかる場所には取付けない。**（落下・感電・火災の原因）
	天井面取付専用・防雨・防湿形器具です。吊り具による吊下げ取付は出来ません。取付不十分な場合、変形・落下の原因となります。（不具合の原因）		**狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（過熱による火災の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		**表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の 90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。**（火災・感電の原因）
	沿岸地帯など塩害を受ける場所、常に風雨にさらされる場所では使用しない。（火災・落下の原因）		**油煙のある場所では JIS K 2241 に規定された切削油剤でミスト濃度 3㎎ / ㎥以下の環境で使用できます。その他の切削油剤を使用の場合、別途確認が必要です。**（油煙の付着による破損・火災・感電の原因）
	直射日光の当たる場所で使用しない。（変色・変形・火災の原因）		

お願い

■周囲温度は－ 10 ～ 35℃の範囲でご使用ください。
■硫黄成分を含む温泉地など、腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
■電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V 電源をご使用の場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に放電する場合があります。
■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。

知っておいていただきたいこと

○防犯カメラ等を使用する際は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
○電源事情の悪い場所では、LED がちらつく恐れがあります。
○誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。

■無償修理
照明器具の商品納入日より 1 年間、また照明器具に内蔵されている LED 光源・電源ユニットは 3 年間です。

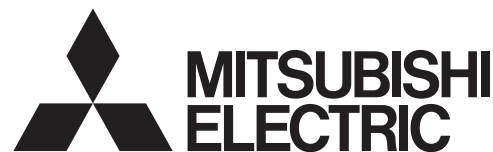
■無償提供
LED 光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品または LED 光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

E769Z604H21

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

三菱 LED 照明器具

当社製 My シリーズ防雨・防湿形器具本体と防水形ライトユニットの組み合わせで性能を満足します。

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 直付形 防雨・防湿タイプ

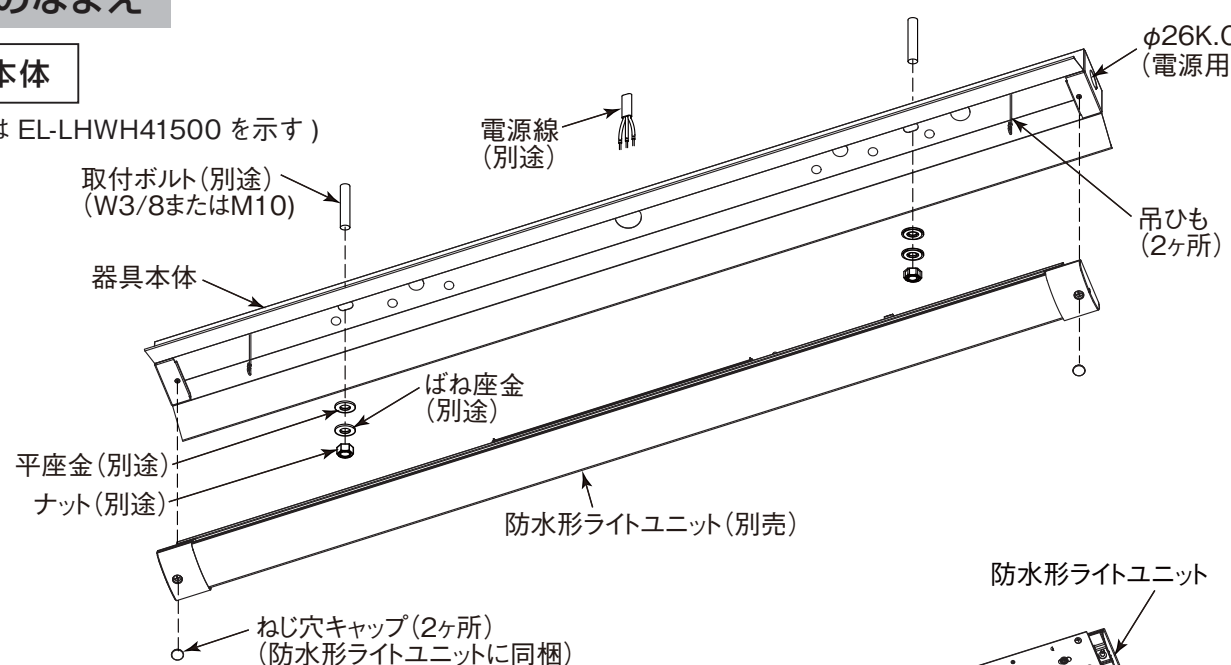
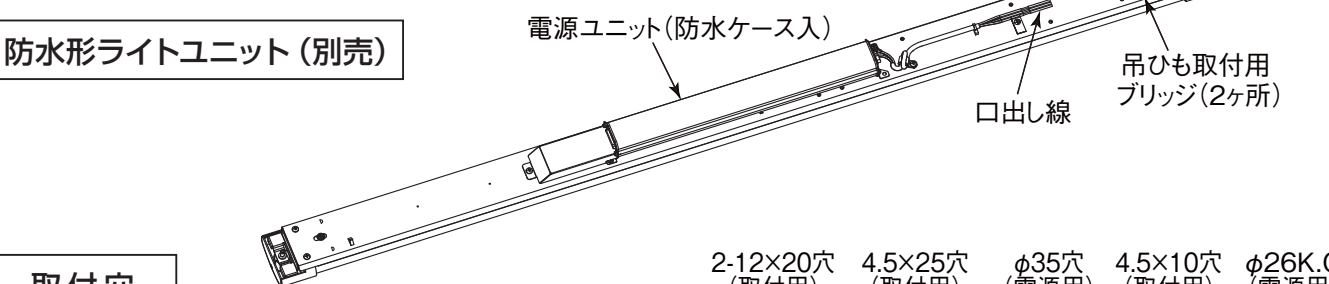
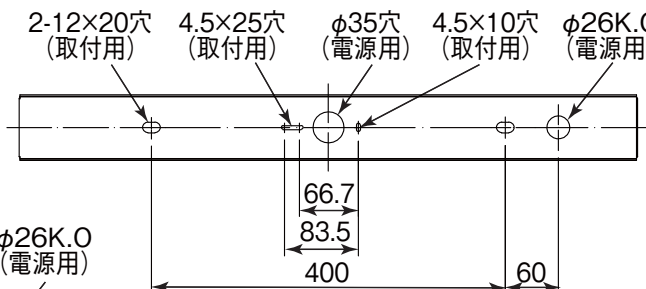
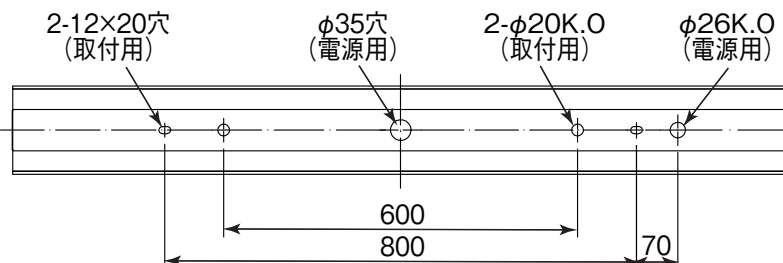
形名　**EL-LHWH21500**（20 形 笠付タイプ）　**EL-LHWH41500**（40 形 笠付タイプ）

据付工事説明書

○施工の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

各部のなまえ

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 **器具の取付けは据付工事説明書に従い行う**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

1 取付け前の確認

○器具本体質量（下表）およびライトユニット質量の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
・ライトユニット質量は適合ライトユニットの取扱説明書を参照ください。
・ボルトは、別途手配の耐食性のあるボルト(W3/8 または M10) を使用する。

形名	製品質量
EL-LHWH21500	1.1kg
EL-LHWH41500	1.8kg

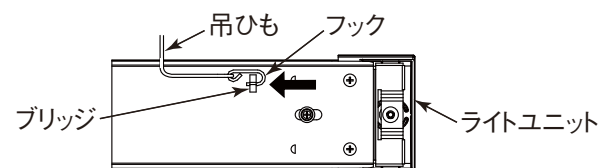
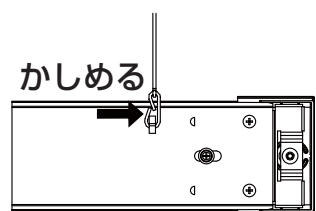
⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

（1）器具本体の電源穴に電源線、アース線を引き込む。
K.O の電源穴を使用する場合は、必ず付属のブッシュを取付けて使用する。
（2）別途手配の耐食性のある平座金、ばね座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。
※埋込 BOX に取り付ける場合、別途手配の耐食性のある平座金、ばね座金、M4 ねじを用いて、本体を確実に固定する。（20 形のみ）

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 ライトユニットを器具本体に仮止めする

(1) ライトユニットの口出し線を器具本体のφ 26K.O の方向に向ける。
(2) 器具本体の吊ひも（2 ヶ所）のフックをライトユニットのブリッジに通す。

(3) フックの先端をかしめる。

⚠注意
フックの先端は確実にかしめる
（落下の原因）

4-1 ライトユニットの口出し線に電源線、アース線を接続する

○口出し線長さは、センター電源穴より器具外約 0.15m です。
○中央電源穴より電源線、アースを引き込み、器具内で接続する場合は、接続部が電源ユニットの横になるよう、余裕をもった引込み長さ（300 ㎜以上）とする。

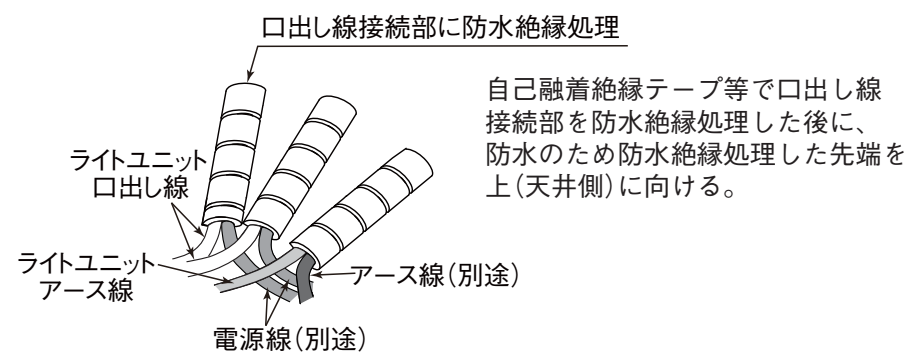
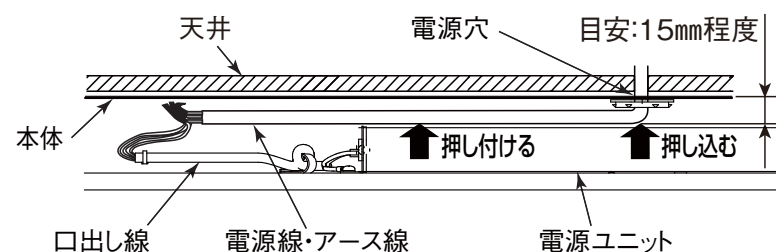
（1）電気設備の技術基準省令第７条に従い、電源線に口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブを用いて確実に接続する。

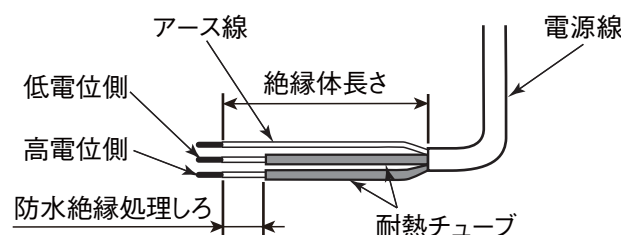
⚠警告
接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因

(2) アース線（緑）を使用して、D 種（第３種）接地工事を確実に行う。

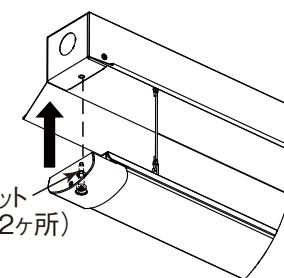
⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合、感電、火災の原因）

(3) 口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。

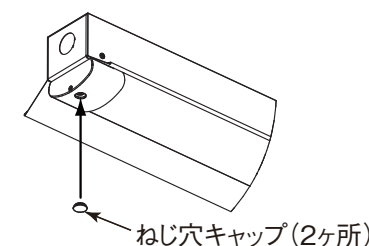
⚠警告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

(4) 器具内で接続する場合は、接続後、余分な電源線・アース線を電源ユニットの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、本体側にも押し付ける。
（下図はライトユニット取付け状態を示す）

4-2 耐熱チューブの取付け

※ 6900lm タイプのライトユニット使用時のみ取付け。
耐熱チューブは適合ライトユニットに付属。
○電源線のシース部を皮むきする。
○耐熱チューブを電源線の絶縁体長さから、防水絶縁処理しろを除いた長さに切断する。
○電源電線（高電位側、低電位側）に耐熱チューブを被せる。

⚠警告
○確実に耐熱チューブを取付ける（火災・感電の原因）
○耐熱チューブの上から防水絶縁処理をしない
（絶縁不良による漏電・感電の原因）

5 ライトユニットを取付ける

(1) ライトユニットを手で器具本体に押し当て、ライトユニット取付ねじを確実に締め付ける。
（推奨締付トルク：3N・m）

⚠警告
電源線、口出し線を挟み込まない（火災・感電の原因）

⚠注意
○器具本体とライトユニットの間に吊ひもを挟まない
（落下の原因）
○器具本体にライトユニットが確実に取付けられていることを確認する
（落下の原因）

(2) ライトユニット同梱のねじ穴キャップを取付ける。

6 ライトユニットの取外し方

(1) ねじ穴キャップ（2 ヶ所）を取外す。

⚠注意
点灯中および消灯直後の器具本体、ライトユニットに触らない
（高温のためやけどの原因）

(2) ライトユニットを手で押えながら、ライトユニット取付ねじ（2 ヶ所）をゆるめて、器具本体より取外す。
(3) 吊ひもを外し、ライトユニットを取外す。